

館山市情報提供
令和5年9月28日
行革財政課
担当：節田（せつだ）
TEL：0470-22-3235

館山市が12年ぶりに『事業仕分け』を開催

市民と課題を共有し、改善の着実な一歩へ

館山市は、令和5年9月23日（土・祝）と9月24日（日）の2日間にわたり、市コミュニティセンターで、市民判定人方式の事業仕分けを開催した。今回の事業仕分けは12年ぶりの開催となるが、市民判定人方式として開催するのは初めて。

無作為で選ばれた満16歳から80歳未満の市民1,000人、令和元年度事業仕分け市民判定人（令和元年度は台風災害により直前で中止）及び市内高等学校在学生のうち参加を表明された方、延べ75名が市民判定人として参加した。（1日目：36名、2日目：39名）

仕分け人は、弁護士や会社経営者、他自治体職員などで構成され、Zホールディングス株式会社の川邊健太郎代表取締役会長など、合計8名が参加した。

今回の事業仕分けは、議論対象を2日間で11コマに分け、仕分け人と市担当者の議論を聞いた市民判定人が、市で実施する事業の今後のあり方を評価。評価した16事業・施設のうち、『不要・凍結』が2事業、『要改善』が11事業、『現行通り・拡充』が3施設だった。（表1）

『起業支援補助金』は、主に「費用に対して効果があまり得られていない」、「重要性をあまり感じられない」、「他の事業に予算を使うべき」などの意見があり、最終的に「不要・凍結」の結果になった。

また、同じく不要・凍結の評価となった『環境保全団体支援事業補助金』は、コーディネーターを務めた一般社団法人構想日本の伊藤氏より、「一緒に議論した補助金と統合可能と思われる補助金事業は、不要・凍結を選択するように」との論点整理があり、『統合可能（不要・凍結）』と判断された。

その他にも活発な議論が展開される中、多くの事業で『要改善』の評価になった。

事業仕分けに参加した市民判定人からは「今まで行政のことをあまり知らなかったが、事業仕分けを通じて行政を身近に感じる事ができた。今後は自分ごと化して考えるようにしたい。」との意見が寄せられた。

【市長コメント】

「様々な角度から市の事業をチェックしてもらい、たくさんの貴重な意見や提案をもらった。事業仕分けを実施して良かったと実感している。いただいた意見や提案を真摯に受け止めて、来年度の予算編成の参考にさせていただく。」

(表1)

令和5年9月23日 評価結果

事業名		評価結果
1. 若潮マラソン大会		要改善
2. 補助金3事業	観光振興支援事業補助金 市民協働事業補助金 環境保全団体支援事業補助金	要改善 要改善 不要・凍結（統合可能）
3. 植栽関連事業	市道植栽管理等維持事業 観光地美化事業委託料 花のまちづくり事業（うち植栽事業） 地区花壇運営事業	要改善
4. 博物館管理運営費	館山市立博物館（本館） 館山城（八犬伝博物館） 渚の博物館（館山市立博物館分館）	現行通り・拡充 現行通り・拡充 現行通り・拡充
5. 社会教育施設運営事業（地区公民館）		要改善

令和5年9月24日 評価結果

事業仕分け		評価結果
6. 移住・定住促進事業	移住相談業務委託 移住者定住促進助成金	要改善 要改善
7. 起業支援補助金		不要・凍結
8. 高齢者等配食サービス事業		要改善
9. 子育て支援施設「元気な広場」の運営		要改善
10. 中・軽度の心身障害者（児）医療費給付扶助費		要改善
11. 防災行政無線事業		要改善

【事業仕分けの様子】

